

氏名	吉 本 純
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 1374 号
学位授与の日付	昭和58年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	人膀胱癌培養細胞株の性ホルモン感受性に関する研究 第1編 T24細胞及び253J細胞に対する性ホルモンの殺細胞効果について 第2編 T24細胞及び253J細胞に対する Estradiol-17β の効果
論文審査委員	教授 関場 香 教授 佐藤二郎 教授 小川勝士

学位論文内容の要旨

膀胱癌治療の問題点は、表在癌の再発率の高さと進行癌症例の予後の悪さの二点に集約され、新しい治療体系の確立が必要とされている。一方、膀胱癌は、その発生過程において性ホルモンが関与している可能性が示唆されている。著者は、このような観点から、性ホルモンが膀胱癌治療へ応用しうる可能性があると考え、人膀胱癌培養細胞T24、253J細胞に対する性ホルモン感受性を colony formation method により検討した。6剤の性ホルモン及び control とした cortisol の計7剤中、estradiol-17β (E₂) は最も高い殺細胞効果を示し、かつその殺細胞作用は濃度及び時間依存性を有し、種族及び臓器特異性を有することが判明した。さらに、両細胞の growth, doubling time, mitotic index 及び形態学的性状に及ぼす E₂ の効果を検討したところ、その殺細胞作用は濃度及び時間依存性を有していた。又、autoradiogram によれば、E₂ の作用点は細胞膜ではなく細胞内にあることが示唆された。さらに、E₂ はT24細胞のS期に特異的殺細胞効果を発揮した。

論文審査の結果の要旨

膀胱癌への性ホルモンの関与、特にその治療への応用について検討したもので6種類の性ホルモンの中E₂が最も高い殺細胞効果を発揮し治療への応用が強く示唆されるなど

一連の新しい知見を得ており，価値ある業績と認める。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。